富山信用金庫は 信頼され親しまれる金融機関として 郷土の繁栄と中小企業の 発展に奉仕する。

信用金庫は地域の住民の方々、中小企業の方々のための専門金融機関です。

富山信用金庫は創業以来、地域の豊かな明日を考え、

さまざまな商品・サービスの提供を心がけてまいりました。

これからも富山信用金庫は

地域の明るい未来づくりのお手伝いをしたいと考えております。

私たち富山信用金庫役職員一同は当金庫の基本方針に則り

堅実なる経営の 基に業績の伸展に 努めます。

地域の方々と 会員相互の繁栄と 発展に尽くします。

役職員一体となり 信頼と理解を深め、 幸福と希望に満ちた 明るい金庫を築きます。





当金庫は、富山市を中心に周辺の市町村を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



1 預金積金に関する事項(地域からの資金調達の状況)

参照ページ ▶ P6.38

当金庫では、地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力しております。

2021年度は、年金受給者の方々を対象とした定期預金「感謝」、固定金利定期預金「とみたん300」、「退職金専用定期預金」、好評を得ております懸賞金付定期預金「ドリーム宝箱」の取り扱いを継続しました。また、インターネットバンキングを利用して作成できるWEB定期預金の取り扱いを開始し、「Amazonギフト券がもらえる!WEBで定期預金キャンペーン」を実施しました。

なお、当金庫で取り扱っております商品につきましては、営業店窓口でおたずねになるか、ホームページをご覧ください。 預金積金残高【433,088百万円】

2 貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

参照ページ ▶ P6.38~40

お客さまからお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客さまの様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するために、 円滑な資金供給を行う形でお客さまや地域社会に還元しており、営業地域に所在する中小企業に対し、設備資金に353億円、運転資金に648億円をご融資しております。また、個人のお客さまには住宅ローンに195億円、消費者ローンに43億円をご融資しております。 地域金融機関として文化的、社会的に地域社会に貢献する主な融資の取り扱い状況は次のとおりです。

医療保健福祉分野 67先・3,882百万円 教育学習分野 526先・2,259百万円 等

また、地元中小企業の資金ニーズに迅速に応えるため、事業性を評価し、担保・保証に過度に依存しない融資商品「とみしんグッドサポート」「とみしん事業活性化促進資金」をはじめ、創業者や地域に欠かせないNPOへの支援資金として「とみしん創業支援資金」「とみしんNPOローン」等もご提供しております。なお、このほかにも当金庫ではお客さまのご要望に応えられるよう種々の商品を揃えております。

貸出金残高【195,695百万円】 預金積金に占める貸出金の割合【45.18%】

3 地域の活性化に関する事項

信用金庫は営業エリアが限定されており、信用金庫とその地域とは運命共同体の関係にあります。

そのため、当金庫の持つ店舗ネットワーク・規模・人材を有効に活かし、中小企業の金融の円滑化のみならず、非金融面も含めた情報、サービスの提供により地域の活性化に貢献しなければならないと考えております。その一環として、信用金庫業界のネットワークを活かしたビジネスマッチングを通じて、お取引先の経営支援に取り組んでおります。また、2020年4月より店舗等の余剰スペースをお取引先に物品販売拠点等として賃貸し、販路開拓や創業を支援する「とみしん地域応援マーケットスクエア」事業を行っております。これまでにインテリア雑貨の展示や食パンの販売など計12回開催し、出店者は新たな顧客層の開拓や市場調査等に活用しております。

さらに「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、地域の課題や環境問題に積極的に取り組んでおります。2021年1月には富山市と「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結しました。この協定締結を契機として、中小企業の振興や地域経済の活性化、中小企業等へのSDGsの普及啓発のほか、脱炭素・省エネルギー・環境保全に関する取り組みについても富山市と連携して推進していきます。SDGsの取り組みを通じて、信用金庫が持つ理念を体現していきたいと考えております。



中小企業の経営支援に関する取り組みについて

当金庫は中小企業のお客さまに対し、個々の状況をきめ細かく把握し、他の金融機関と連携を図りながら貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めます。

また、それぞれのお客さまのライフステージに応じた経営課題の解決に向けて、コンサルティング機能を発揮し、最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し実行するとともに、外部機関とも有機的な連携を図りながら、中小企業の経営改善の解決に取り組みます。



中小企業の経営支援に関する体制整備

本部の営業推進部に経営相談担当を設け、相談特化型店舗「B&Lコンサルティングスクエア」に同担当を配置し、経営助言や企業の経営改善のお手伝いをするなど、コンサルティング機能の充実を図っております。

また、顧客企業の経営課題の解決に向けて、地域の関係機関(地方公共団体・信用保証協会・商工会議所・商工会・中小企業 基盤整備機構・富山県新世紀産業機構・教育研究機関)や外部専門家との連携を強化するとともに、お客さまへの日常的、継続 的な経営相談の実施とソリューション提案の充実化により、本部と営業店が協力してお客さまの期待に応えられるよう取り組ん でおります。

中小企業の経営支援に関する取組状況

a. 創業・新規事業開拓の支援

- ●創業を検討しているお客さまに対して、相談特化型店舗「B&Lコンサルティングスクエア」において、 専担者が常時、創業相談を受け付けており、創業計画から資金調達、販路開拓までの一貫支援に より創業支援を行っております。
- ●地域のニーズに対応し、独創的な商品やサービスを新たに提供する女性や若者のチャレンジを支援する 為に、各種補助金の活用提案やビジネスマッチング支援、ビジネスプラン、事業計画書作成支援を行って おります。

b. 成長段階における支援

- 中小企業119等の専門家派遣制度を活用し、顧客企業の販路開拓や生産性向上などの経営課題に対し、専門家を派遣しながら伴走型の課題解決に取り組みました。
- ●とみしんビジネスクラブ会員企業の課題解決に取り組みました(経営セミナー等)。
- ●中小企業基盤整備機構や富山県中小企業診断協会等と連携し、個別経営相談会(全12回)を開催しました。
- ■国、県等の補助金申請支援により、お取引先企業の経営革新や生産性向上、事業再構築の取り組みを 支援しました。



中小企業基盤整備機構と連携した 個別経営相談会

c. 経営改善、事業再生、業種転換等の支援

- ●お取引先企業への経営改善支援として、外部支援機関や外部専門家と連携して経営改善計画の策定支援・実行支援を行っております。
- ●中小企業活性化協議会を通じて経営改善を支援したお取引先や新型コロナウイルス感染症対応資金のご利用先に対して、定期的・継続的なモニタリングを実施しており、本部と営業店が一体となって計画の進捗度のチェックと課題解決のための伴走支援を行っております。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2021年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は951件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は37.2%、保証契約を解除した件数は139件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)はございません。

金融仲介機能の強化について(ベンチマークに関する開示)

当金庫の基本方針「信頼され親しまれる金融機関として郷土の繁栄と中小企業の発展に奉仕する」のもと、「お客さまとの共通価値の創造を目指したビジネスモデルへの転換」を定着させるため、金融仲介機能を客観的に評価する指標として「金融仲介機能のベンチマーク」を活用するとともに、地域密着型金融を積極的に推進し、地域の活性化に貢献してまいります。



事業性評価の結果等を提示して対話を行っている取引先数

592先

地域金融機関として、日々の営業活動の中から、お取引先の事業内容を適切に把握し、その事業性評価の結果を提示しながら、お客さまと経営課題を共有するための対話を実施しております。

事業性評価に基づくお取引先との対話を通じて、コロナ禍における円滑な資金供給やアフターコロナにおけるお取引先の新たな経営課題に対する経営支援の取り組みを推進してまいります。

本業支援先・企業のライフステージに応じたソリューションの提案先数 412先

お取引先企業の経営課題・ニーズを的確に把握したうえで、マッチング機会の提供や各種セミナー・個別相談会の開催、外部専門家の派遣等、企業のライフステージに応じた幅広い本業支援や経営改善支援において、ソリューション提案を積極的に行ってまいります。

本業(企業価値の向上)支援先数 155先

※本業支援…販路開拓、専門家・外部機関と連携した支援等、企業価値向 上に資する支援

メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先数の割合 18.4%



しんきんビジネスフェア「特別商談会2021in富山」

外部専門家を活用して 本業支援を行った取引先数 **44先**

※中小企業庁委託事業「中小企業119」をはじめとした各種専門家派遣制度の活用先数

取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数 304先



経営セミナー

事業性評価に基づく融資を行っている先数

547先

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、お取引先企業の事業継続に向けて、これまでも実施してきた事業性評価を一層深掘りし、お取引先企業の資金繰り支援と本業支援に一体的に取り組んでまいります。

業績は順調に推移しています。

事業概況等

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進捗する中で、総じて回復基調が続きましたが、オミクロン株の 感染拡大や半導体不足の影響等により回復ペースが鈍化しました。

我々金融業界においても、低金利環境の継続により、預貸金利鞘や有価証券運用益の確保が困難な状況が続いております。また、コロナの影響が長期化する中で、信用コストの顕在化による収益への影響が懸念されます。

このような厳しい経済環境の中で、当金庫では引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者の皆さまの資金繰りを積極的に支援するとともに、本業支援や経営改善支援等、金融仲介機能の発揮に努め業務に取り組んでおります。

預 金

当金庫の特徴でもあります渉外担当者とライフサポート担当による きめ細かな営業活動を継続し、「取引基盤の拡充」と「取引メイン化」 の推進を図りました。

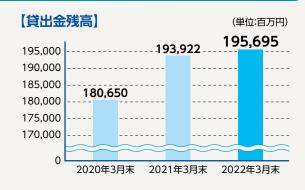
好評を得ております年金受給者の方々を対象とした定期預金「感謝」、固定金利定期預金「とみたん300」の取り扱いを継続したほか、コロナ禍に伴う消費抑制、事業者の手元資金確保等の要因により個人、法人預金ともに増加し、期末残高は4,330億円となりました。



貸出金

コロナ禍により苦境に陥っている中小事業者の皆さまの資金繰りを支援すべく、全営業店に「新型コロナウイルス相談窓口」を継続して設置するなど資金需要に積極的にお応えしました。

またWEB完結型の消費者ローンの取り扱いを開始し、非対面営業の強化を図りましたところ、期末残高は1,956億円となりました。



損 益

有価証券利息配当金の増加により資金運用利益が増益となったことに加え、引き続き経費の効率的支出等に努めた結果、当期純利益は2億5千3百万円を計上することができました。



対処すべき課題

信用金庫の事業基盤の柱である中小事業者の業況は、人口減少や少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの影響により、さらに不透明感が増しております。このような状況の下、創立120周年を迎える節目にあたり、当金庫の経営理念である「相互扶助」を再認識し、地域の持続的な発展に結び付けたいと考えております。

2022年度は現在遂行中の「中期経営計画」を維持し、各項目の達成を進め、特に「顧客基盤の強化」「新しい商品による収益向上」「職員のスキルアップ」に注力し、デジタル化など時代の変化に対応できるよう体制整備を進めてまいります。

全役職員の総力を結集し、今まで以上に多くのお客さまに喜んでいただけるよう、更なる金融サービスの充実を図り、協同組織の地域金融機関としての社会的使命を達成してまいる所存でありますので、何卒、今後ともあたたかいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

直近の5事業年度における主要な経営指標等の推移

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
利益	経常収益(千円)	4,616,694	4,198,183	4,395,359	4,169,844	4,294,477
	経 常 費 用	3,994,088	3,701,985	3,605,749	3,417,247	4,138,532
	経 常 利 益	622,605	496,197	789,610	752,597	155,945
	当期純利益	336,452	400,764	599,171	589,991	253,413
残高	預金積金残高(百万円)	405,697	410,191	406,787	425,717	433,088
	貸出金残高	170,729	172,832	180,650	193,922	195,695
	有 価 証 券 残 高	123,836	131,068	127,876	138,021	151,168
	総 資 産 額	433,751	438,983	434,136	470,452	460,715
	純 資 産 額	26,175	26,925	26,105	27,248	25,870
その他	出資総額(百万円)	681	677	672	671	669
	出資総口数(千口)	1,362	1,354	1,345	1,342	1,338
	出資に対する配当金 (出資1口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円
	単体自己資本比率(%)	17.21	16.52	16.39	16.12	15.83
	役 員 数(人)	12	12	11	11	10
	うち常勤役員数	6	6	6	6	5
	職 員 数	255	244	251	239	238
	会 員 数	27,894	27,177	26,434	25,980	25,425

※本レポートにおける計数は、全て単位未満切り捨てにて記載しております。